

星) そもそも課税当局は、地方税法第348条でいう資産を確認しているのか。

総務部長) 土地については、調査しているが、建物については、非課税の境内地にあるということで調査していない。

星) 課税・非課税は、資産を調査確認の上、意思決定する事になっている筈だ。如何か。

総務部長) 新しい課税客体だ。可能な限り法人の同意を得たいという気持ちだ。

星) 宗教法人等非課税制度の恩恵に浴する立場であっても、申告納税制度の日本では、課税当局に資産状況を報告しなければならない規定とされている。調査を徹底すべきだ。

3Rに優先順位を 子育てエンパワーメント

生活者ネット・市民クラブ 多良 京孝子

問) ごみ減量に向け、「3R」=リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の取り組みがされているが、抜本的なごみ減量を進めていくには、ごみ資源の再生利用(リサイクル)に重点を置くのではなく、ごみになるものをつくらない(発生抑制)、ごみにしないよう繰り返し使う(再利用)取り組みを優先すべき。「ごみ減量化・資源化行動実施計画」の中で3Rの優先順位を再確認せよ。

環境部長) 発生抑制のために事業者や市民の方と一緒に取り組む方策を考える必要がある。

問) 以前、小学生向けの環境教育ビデオ刷新を提案したが、3Rの優先順位を内容に入れよ。

環境部長) そのような形で進めていきたい。

問) 子育ての社会化が言われ十数年が経ち、行政の支援サービスは増えたが、場を用意しているだけになっていないか。子育て当事者が子育てにしっかり向き合い、子どもの育ちを支えていく力をつけるための支援こそが重要である。そのためには、子育てをポジティブに受け入れ、自信をもって子育てに取り組むきっかけとなる場、子育て当事者のエンパワーメントにつながる場になるよう、検診等で9割以上の乳幼児親子にアプローチできる健康推進課、親子ひろば・児童館担当の子育て支援課、男性の育児参加やワークライフバランスを進める立場の男女平等人権課等が連携し、あらゆる事業、あらゆる場面での意識的な取り組みを求める。

市長) 育児の楽しさを皆さんに味わっていただけるまちを作っていかなければならない。

市民のくらしと再開発事業

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

《国分寺駅北口再開発事業について》

問) 250億円近い市税負担がある。財源は。

市長) 市民税を含めた歳入の確保と、行政改革等による歳出削減で生み出す。

問) 再開発の財源を生み出すために、くらしにどのような影響が出るのか、どのように市民に説明する考えか。

市長) 今後の説明会をやる中で留意する。
※市民生活への具体的な影響を明らかにせず計画を進める市長の手法は、説明責任を果たしていないことを指摘しました。

《保育政策について》

問) ひかり保育園を民営化するという方針はど

ういう経過を経ていつ決定したのか。

市長) 市全体の方針の中で考えた結果だ。
※個別の園について説明する必要は無いと言う市長の姿勢は自治基本条例違反だと指摘した上で、《保育園増設について》求めました。

問) 西部地域に認可保育園の増設計画を。

子ども福祉部長) 調査結果を受けて、適正な配置になるよう取り組みたい。

《ぶんバスの改善について》

問) 二小西側道路拡幅計画は、ひかり公民館等へのぶんバス運行を可能にする条件では。

都市建設部長) ある程度の要件が満たされれば可能性は高い。具体的に検討する。

※この他、《国立駅北口ロータリーの交通安全対策》《中央線高架化に伴う南北通路を24時間通行可能にすること》などについて、関係機関への働きかけを求めました。

再開発への追加支出36億より 福祉優先すべき

無会派 甲斐 よしと

9月議会で市長は北口再開発西街区ビルの保留床の36億分を市が買う表明をしたが、その件は先送り再度暫定予算が提案された。再開発施行ルール分以上の36億を後年度負担してまで完成しても、今や再開発自体に市民のまちに対する誇りやアイデンティティは薄い。むしろ先進的に子宮頸がんワクチン接種を始めた、高齢者の安否確認システム構築等…が私達の命を守る施策をやっている市だと市民の誇り、自慢、満足度になる。不安を取り除き安心を求めるよう、時代は既に大きく変わっているのだ。

特に安否確認システムに対しての福祉保健部長の過日の答弁は許せない。機器の経費を問うならば、私が以前提案したよう新聞店との提携等や、極端にアナログなら、玄関やポストの脇に札を付け裏返す事で元を確認したり等、部長の言う「地域で見守る」は様々なアイデアを重層的システムにし得て初めてそう言える事で、先日も孤独死があったと部長を糾弾しました。

《故・忌野清志郎氏は三中出身、我々の先輩》
輝く我が市出身者の足跡を残すべきだ。公費は厳しいので全国に呼びかけ実行委員会を設立し、例えば学校に「僕の好きな先生」の歌碑等作らせて貰ってもよいのではないかと提案致しました。

《国立駅北口の正面の通りに都費で街路樹を》
西側(白十字側)は都が拡張。住民参加で樹木を決めミニ大学通りを目指し東側買収の後押しに。
《新町の寄附樹林地がほったらかしだ! (怒)》
一年放置だ。隣地の保護樹林地権者への御相談や地域の声を聞いて整備計画を作るよう求めた。

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成22年第4回定例会(11月24日(水)開会予定)後の閉会中の委員会で審査を希望する方は12月16日(木)までに市役所第1庁舎3階議事事務局へ提出してください。

また、平成23年第1回定例会から審査を希望する方は平成23年1月31日(月)までに提出してください。

※提出にあたっては、事前にご連絡ください。 調査担当(内581)

改善されない杜撰な事務執行! 政倫審招集も!

民主党・無所属クラブ 木村 徳

木村=条例によって定年は60歳に達した後の3月末と定められているが、6月退職の職員に定年退職金を支払ったのは違法だ。

市長=規則の定めによって処理した。(※地方自治法は定年退職日を議決を要する「条例」で定めることを明記しているが、規則の特例を根拠に市長は答弁を繰り返し、結果約400万円が上乗せして支払われてしまいました。)

木村=昨年12月に問題となった、補助金を受けて購入した土地の目的外使用に関し、同様のことを行ったのは問題ではないか。

市長=事後報告を受け、不適切で停止させた。(※しかし、既に行われたアスファルト舗装の現状回復費用を誰が持つのか、総務部の決裁を受ける案件なのに行っていなかった等の問題もあり、改めて12月議会で議論します)

木村=本町4丁目駐輪場が、議会の報告すらない不透明な形で閉鎖をされ、予算委員会の私の指摘で駐輪場廃止条例案も撤回された。しかし再開の広報が市民にはほとんどされていない。

市長=私は指示していない。(※公共施設に関わる重大な問題すら指示が出せない実態です)

木村=文化財保存館の「管理委託」を随意契約で市長の実兄が代表の法人と契約していた。二親等以内との契約を規制した政治倫理条例違反であり、政治倫理審査会の招集を求める。

教育部長=確認していないのは私の責任だ。(※その後の決算委員会で、教育長が事務執行上の責任で減俸処分を自らに課すことを、市長は政治倫理審査会の招集を表明しました。)

市議会では、一般質問の模様を市ホームページで音声配信します。一般質問の翌日から10日を目安に配信を始め、以後日単位で順次配信いたします。 議事担当(内468)

陳情の審査結果

第3回定例会には陳情2件が提出され、委員会に付託した後、継続審査中の7件と併せて審査し、不採択1件、継続8件となりました。

《不採択となった陳情(付託先)》

陳情第22-2号「犬の排泄物の路上放置対策を求める陳情」(建設環境委員会)

《継続となった陳情(付託先)》

陳情第22-5号「国に子宮頸がん・ワクチン接種を要望する意見書を求めるとともに子宮頸がん・ワクチンに市の補助を求める陳情」(厚生委員会)

陳情第22-6号「家庭福祉員制度を充実する陳情」(厚生委員会)

陳情第22-7号「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情」(厚生委員会)

陳情第22-8号「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

陳情第22-9号「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

陳情第22-10号「人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

陳情第22-11号「一人暮らし世帯の安否確認と緊急通報システムの新設・普及を求める陳情」(厚生委員会)

陳情第22-13号「違法性が高い教育委員会委員への月額報酬支給を日額制に改めることを求める陳情」(総務委員会)